

牛窓の前方後円墳の中で最後に築造
二塚山古墳

指定区分	県指定史跡
読みかた	ふたつかやまこふん
所在地	瀬戸内市牛窓町鹿忍
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	牛窓の海に面して築かれた5基の前方後円墳の一つで、墳長約55m。後円部に長さ12m以上の横穴式石室が築かれている。採集された遺物には、水晶製三輪玉、須恵器、円筒・形象埴輪などがある。牛窓に築かれた前方後円墳の中では最後に築かれたものであり、時期は6世紀後半である。
アクセス方法	瀬戸内市役所牛窓支所から約4km
公開状況	自由
設備	
備考	牛窓の中心部から西脇海水浴場へ向かう途中にある、牛窓ペンション村近くに所在。

きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	二塚山古墳
よみかた	ふたつかやまこふん
しょざいち (所在地)	瀬戸内市牛窓町鹿忍
していつひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	長さおよそ55メートルの前方後円墳(ぜんぼうこうえんふん)です。後円部(こうえんぶ)に長(なが)さ12メートル以上の横穴式石室(よこあなしきせきしつ)がつくられています。